

ようこそ畑へ

2010年7月26日(月)・29日(木)

きゅうりが採れています。このきゅうりは「四葉（スーヨー）きゅうり」という品種で大正末期ごろから栽培されているものだそうです。今、一般的に栽培されているきゅうりの多くは品種を掛け合わせた交配種（またはF1（エフワン））と呼ばれる品種ですが、この四葉きゅうりは固定種と呼ばれる品種です。

2003年、種を購入し、以来、毎年種採りを繰り返してきました。豊滝に移って3年目の2007年はきゅうりの生育が悪く、苗作りの段階から次々と枯れていき、予定していた半分の苗しかできませんでした。残った苗を畑に植えましたが、次々に枯れて最後に1株だけ残りました。その1株が実をつけてくれたので、そこから種を探りましたが、この年は、野菜セットの中にきゅうりを1本もいれることができませんでした。この年は、毎朝きゅうりの植えてあるところに行くのが、「今日は何本かれているんだろう」と怖かったのを記憶しています。

この年は、種が40個採れたので、2008年はその種をまきました。以来、毎年種採りを続けてきましたが、年々生育がよくなっているように思います。まだ、大きさや形にはらつきがありますが、今年も形も大きさもいい物を選んで種を探り、来年以降につないでいきたいと考えています。

実は、似たようなことは、ズッキーニでも経験しており、今年はナスの生育が良くなく、100株近く苗を作る予定だったのですが、途中で枯れて虫に食われて、15株ほどしか残りませんでした。何とか種は採れそうですが、野菜セットに入れられるかどうかは、ちょっと微妙なところです。

種採りを続けていくと、途中で生育が悪い年がありますが、そこを乗り越えると、だんだん良くなってくるといいます。ある農家の方が言っていました。「種採りは、人づくり」。きゅうりが枯れて行った時、途中であきらめいたら、今年のきゅうりは違ったものに

なっていたでしょう。つらかったけれど、それを乗り越えたからこそ、今がある、と思うのです。全体的には良くなくても、中に少しでも良いものがあれば、そのことに感謝し、大切に育てていくことが種採りの過程では大切なことだと学びました。

良くない事の中にも、いいことを見出し、明日につなげていく、これは日々の生活の中でも心がけて行くべきことかもしれません。

伊達家の食卓

【ズッキーニ】自家採種

素揚げにしてめんつゆにつけこみ、冷やしてたべる「揚げびたし」もおいしいです。

【さやいんげん】(自家採種)

まずはシンプルに茹でてマヨネーズをつけて食べてください。

【きゅうり】(自家採種)

スティック状に切っても、ぶつ切りにしてもおいしいです。

【タアサイ】

濃い緑の中華野菜です。一枚一枚葉っぱを外し、洗って厚手の鍋に入れて、少しの水と塩とゴマ油をまわしかけて2、3分蒸し煮してください。